

開館カレンダー

休館日

2021年11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※11/28(日)はかたらいが全館清掃で休館のため、わ・わ・わぽっどでおはなし会は1週間早めて実施します。

2021年12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 土曜日のおはなし会**
対象:3才~
日時:毎週 土曜日 14時~
会場:図書館 おはなしの部屋
- わ・わ・わぽっどでおはなし会**
対象:就学前児とその保護者
日時:毎月 第2水曜日 11時~
最終 日曜日 11時~
会場:子育て支援センター
- 土曜日のおはなし会は、予約制です。参加ご希望の方は、電話または来館にてご予約ください。定員は6人です。なお、今後の状況によっては、中止になる場合もあります。

学芸部だより⑩

古枝小学校5年生「郷土学習」講演(報告)

竹ノ木庭水道を歩く

古枝小学校、竹ノ木庭水道



竹ノ木庭水道

9/22(水) 古枝小学校からの依頼で、5年生の郷土学習の授業の中で講演を行いました。
子どもたちは、午前中、小学校で竹ノ木庭水道についての話を聞いた後、午後から実際に竹ノ木庭を案内にしたがって歩きました。
実際に現地を確認しながら、竹ノ木庭の成り立ちや、ほかの市内の水道との比較の話を聞くことで、自分たちが暮らす古枝のことがより身近に感じられたのではないのでしょうか。
とても熱心に聞いてくれていました。

司書のひとりごと...

「つまずいたっていいじゃないか にんげんだもの」
これは書家であり詩人であった相田みつをの言葉です。
今年は没後 30 年。夏には県立美術館で「相田みつを全貌展」が開催され、大盛況だったようです。
図書館でもコーナーを作って、たくさんの人が作品を手に入れました。

「本は心の栄養なんだよなあ」
これは「相田みつを全貌展」で佐賀新聞社賞を受賞した浜小学校 6 年生の児童の作品です。
みつをになったつもりでつぶられた言葉で、そのとおり！と感心させられます。

本を読むのにぴったりの季節になりました。
図書館でお気に入りの1冊を見つけて読書を楽しみ、心を元気にしてみませんか。(Y)



鹿島市民図書館だより

みんと



- 『本をゆずる市』を開催します。
- 図書館実習報告
- 特別整理期間報告
- 子ども図書館サポーター活動報告③
- セロ弾きのゴーシュミニコンサート報告
- 学芸部だより⑩

2021年11月 239号

図書館で読まれなくなった本を無料配布します。

『本をゆずる市』

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止する場合があります

- ※雑誌はありません。
- ※寄贈本は受け付けません。

新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用・入場時の検温にご協力をお願いします。

11月27日(土)・28日(日)

9:30~16:30

エイブル1階エントランスロビー

10冊/1人

※新型コロナウイルス対策として人数を制限しますので、混雑時は待ち時間が生じます。

11月30日(火)~12月5日(日)

(火~金)9:30~19:00

(土~日)9:30~17:00

図書館内

※月曜日は休館
冊数制限無し

...館長コラム「心が動けば」...

まもなく読書週間が始まりますが、読書の効能については、今まで国内外で色々取り上げられています。

例えば子どもへの影響に関しては、イギリスのブレア元首相の言葉として、「7歳の子どもの読書量が20年後のイギリスの存在価値を決める」というものが紹介されていたと思います。

日本にも、気になる調査結果があります。昨年度の新任図書館長研修資料の中に、子どもの読書活動に関するものが載っていました。2013年発表のデータが示す内容は、子どもの頃の読書活動と現在の意識・能力との関係として、「子供の頃に読書活動が多い成人ほど、『未来志向』、『社会性』、『自己肯定』、『意欲・関心』、『文化的作法・教養』、『市民性』のすべてにおいて、現在の意識・能力が高い。」というものです。

また、高齢者に対する読書の効能についても諸説がありそうです。時代を反映した新しい切り口として、2018年のNHKの番組「AIに聞いてみた どうすんのよ!? ニッポン」で、「健康寿命を延ばすカギは、運動よりも食事よりも、読書」という紹介がありました。図書館勤務の身としては魅力的なフレーズではありますが、この信ぴょう性については、「読書という特定の行為が健康寿命を確実に伸ばす」という結論は、「医学的に現段階では非常に難しい」という回答になると思います。ただし、読書することが脳を刺激し、活性化することが健康に結びつくという道筋は、多くの資料で述べられていると思います。例えば、山梨県は健康寿命が上位にランクインしている常連の県ですが、これには人口に対する図書館数が全国1位ということが関係しているという説もあります。

今回の読書週間の標語は「最後の頁を閉じた 違う私があった」です。「心が動けば体が動く」は医療・介護関係に限らないと思います。皆さんが、心が動くきっかけとなる1冊と出会えますように。

鹿島市民図書館長 市坪 秀明

鹿島市民図書館 一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団



〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市民生涯学習センター エイブル

TEL : (0954) 63 - 4343 FAX : (0954) 63 - 2217

http://www.library.city.kashima.saga.jp

2021年10月25日発行

新着図書案内

毎週金曜日は、新着図書の日

貸出カウンター前は新着図書のコーナーです。毎週金曜日には、約100冊の新着図書がみなさんとの出会いを待っています！ぜひ、借りに来てくださいね♪



『よけいなひと言を好かれるセリフに変える』

働く人のための言い換え図鑑
大野 萌子 / 著 サンマーク出版

前作の『言い換え図鑑』から、職場で使える言葉に焦点を絞った第2弾。あまり意識せずクセのように言っている言葉が、相手に与えていたモヤッと感にハッとします。ビジネスコミュニケーションの基本書として読んでおきたい本。



『カムカムエヴリバディ』

平川 洌 / 著 NHK 出版



終戦直後の混乱期、いかにして「ラジオ英語講座」は始まったのか。カムカムおじさんとして親しまれた講師平川唯一の生涯と、まだテレビがなかった当時、家族みんなでラジオを聞いていた時代の雰囲気も味わえます。

『最近、地球が暑くてクマってます。』

水野 敬也 / 著 文響社

「あのう、最近クマってます…」と北極のシロクマが、地球温暖化について訴えるところから始まる地球温暖化解説本。2018年温暖化の影響をもっとも受けたのは日本だという発表もあるほど、すでに他人事ではないのです。



『るるぶ国立公園へ行こう』

JTB パブリッシング



密を避けて大自然を満喫！季節ごとに変わる海や山の絶景・アクティビティ・文化・動植物を楽しめる日本の国立公園34のポイントを紹介します。人込みが心配な観光地を避けて、大自然に出かけてみませんか。

『農家が教えるゆずづくし』

農山漁村文化協会 / 編 農山漁村文化協会

「ゆずを収穫したけれど消費しきれない！」という方は必見。ゆず胡椒などの調味料からジャムなどのスイーツや焼酎まで、さらにはゆずを長く楽しむための保存・加工方法から庭で栽培する方法まで、ゆず農家が徹底解説します。



図書館実習報告 (9/15~9/23)

佐賀女子短期大学の学生さん2人が、図書館実習に来られました。図書館の多種多様な仕事に驚きながらも、真剣に取り組んでくれました。



- 【主な実習内容】
- ・本の修理
 - ・みにみに図書館(巡回本)の選書/返却
 - ・特別整理期間の準備
 - ・おはなし会
 - ・レファレンス
 - ・貸出/返却

このほかにもいろいろな仕事をしながら体験された8日間でした。

特別整理期間報告 (10/4~10/8)

9月の臨時休館に続いて長期の休館になりご迷惑をおかけいたしました。年に1度の蔵書の総点検が無事に終了しました。休館中に行ったことの一部を紹介します。



点検が終わるまでブルーシートに仮置きされたポスト返却本

書庫も含めたすべての棚の本を点検しました



館内を秋らしく飾りつける開館準備

館内の特集コーナーの準備(写真は地域資料棚)

絵本を探しやすくなった新見出し

子ども図書館サポーター活動報告③

夏休みをはさんで久しぶりに、9/23(木・祝)10:00~12:00 第3回目の活動を行いました。

前はイベントのお手伝いでしたが、今回は貸出や返却カウンターの仕事、本棚にある本をよく知るための仕事をメインにしてもらいました。



アサガオの種とり

貸出/返却の練習後カウンターへ



指定された本を検索したり、本から質問の答えを探したりしました



おはなしのへや用の飾り作り

音楽童話『セロ弾きのゴーシュミニコンサート』報告 (9/26)

エイブル事業との連携で音楽童話『セロ弾きのゴーシュミニコンサート』に図書館職員も朗読者として出演しました。

さらにコンサートの後には、『セロ弾きのゴーシュ』の作者 宮沢賢治の本を紹介するブックトークと簡単なクイズをしました。

図書館に立ち寄って、「賢治さんクイズ」にも挑戦してくれた方もいらっしゃいました。ありがとうございました！

